

令和7年度 第4回 萩丘小学校運営協議会

日時：令和8年2月16日 14:30～

会場：萩丘小学校 会議室

<次第>

- 1 開会 (司会：教頭)
- 2 会長挨拶
- 3 校長挨拶
- 4 議長の選出
- 5 前回会議録確認
- 6 熟議 (司会：議長)
 - (1) 学校評価について (主幹)
 - (2) 令和8年度学校運営の基本方針の説明 (校長)
 - (3) 令和7年度学校運営協議会自己評価 (教頭)
- 7 報告
 - (1) 夢育やらまいかCS加算分・90周年記念をお祝いする会の報告 (教頭)
 - (2) 令和7年度のコミュニティ・スクールの取組について (CSコーディネーター)
- 8 連絡、その他
 - ・卒業式、入学式、その他行事について (主幹)
 - ・改修工事について (教頭)
 - ・来年度学校運営委員メンバー、萩っ子サポーターズメンバー (校長)
- 9 閉会

令和8年度 浜松市立萩丘小学校 グランドデザイン

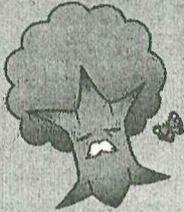
第4次浜松市教育総合計画

「自分や浜松の未来を創る人づくり」
「安心・安全で魅力ある環境づくり」
「こどもの学びや育ちを支える連携・協働」



目指す学校像

「豊かなかかわり合い」と「質の高い学び」の中で、自分の良さを発揮し、将来輝くための自分を創る「未来につながる学校」



くすしい

学校教育目標

いい顔 いい友 いい学校
～豊かなかかわりの中で磨き合う子の育成～



はぎるん

生き抜く力

自分の良さを伸ばす子

自分を見つめ、良さに気づき、
集団の中で輝く子

～自分の良さに気づき、生かす力～
「かがやこう」

体

高め合う子

自分から何事にも取り組み、
友達とかかわり、最後まで挑
戦し続けることができる子

～挑戦し続ける力～
「やってみよう」

知

学び合う子

自分の課題を解決するために、
様々な人とかがわり、より良い
考えを見付ける子

～考える力～
「考えよう」

徳

つなぎ合う子

自分の思いを伝え、相手との違いを
受け入れ、より良い関係を築こうと
主体的にかかわる子

～かかわる力～
「いっしょにやろう」

目指す子供の姿

～付けたい力～

「合言葉」

研修主題

ひと・もの・こと・自分との
かかわりの中で学びをつなぐ
授業の創造

萩っ子の心得

みんなが
いい気持ちになることをしよう

信頼される学校の創造

安心安全な
学校づくり

教員の指導力や
資質の向上

家庭や地域と
ともに進める
学校づくり

10年先を
見据えた
学校づくり

(様式1)

令和7年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立(萩丘小)学校運営協議会長

<本年度の目標>

学校教育目標「いい顔 いい友 いい学校」にそった学校運営方針に基づく支援活動を実施していく。そして、活動を積み上げてきた実践を大切に、今後につなげていく。また、十分な発信をしていく。

<評価項目1> 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

<評価項目2> 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

<評価項目3> 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

<評価項目4> 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標(取組の重点)

(様式1)

令和 7年 5月13日

浜松市立萩丘小学校
夢をはぐくむ学校づくり推進協議会
代表 長谷 明浩 様

浜松市立萩丘小学校運営協議会
会長 鈴木 莞爾

夢育やらまいか事業に対する意見書

令和7年 5月12日に開催した学校運営協議会において、下記の意見を議決しましたので報告します。

記

1 学校運営の基本方針を具現化するための意見

① 萩丘小学校には、学校支援コーディネーターが2人いる。学校支援を充実させるため、その他に「萩っ子サポーターズクラブ」が組織されている。学校の教育活動にそった授業や行事において必要な講師や学習ボランティアを依頼すべきである。

⇒ メンバーは、地域や保護者と連絡を取り、調整を図ったり授業や行事に必要な講師や学習ボランティアの募集、連絡、調整をしたりして活動内容を分担しながら外部との連絡や調整を行う。また、メンバーが講師や学習ボランティアを行う。

R7年度 学習支援活動報告

【スタディーサポート（スタサポ）】

月	学 年	教 科 : サポート内容	授業数
4月	1年	下校サポート：安全見守り	5
	1・2年	交通教室：安全見守り・活動補助	4
5月	5年	はじめての調理実習：調理補助	6
6月	2年	どきどきわくわく町たんけん：引率・安全確保	6
	5年	ソーイングはじめの一步：活動補助	6
	5年	お茶の淹れ方講座：活動補助	3
	4年	UD施設見学「あいホール」：見守り・活動補助	2
	にこほほ	ソーイング「小物製作」：製作補助	2
7月	6年	できること増やしてクッキング「朝食のおかず」：調理・安全補助	6
9月	1年	はなをさかせよう（アサガオツルのリース作り）：安全見守り・活動補助	3
	5年	ミシンでソーイング（エプロン作り）：活動補助・安全確認	12
	6年	生活を豊かにソーイング（トートバッグ製作）：活動補助・安全確認	29
10月	1年	いきものとなかよし（四ツ池公園虫探し）：引率・活動補助	3
	3年	この町大すき～四ツ池公園：引率	2
		校区たんけん（幸・小豆餅・萩丘）：引率・安全見守り	6
11月	1年	たのしい あき いっぱい：引率	3
	2年	サツマイモをそだてよう：サツマイモ調理・片付け	4
		みんながつかうしせつ「浜松球場・陸上競技場」：引率・活動サポート	3
		みんながつかうしせつ「あいホール」：引率・活動サポート	3
		はたらく人とわたしたちの暮らし「フィール」：引率・施設見学活動サポート	2
	5年	しめ縄作り：準備・片付け・活動補助	4
	にこほほ	スイートポテト作り：安全見守り・活動サポート	3
6年	こんだてを工夫して（調理実習）：活動見守り	6	
12月	3年	すがたをかえる大豆「醤油講座」：味見・活動補助	3
		書き初め：準備・片付け・活動補助	5
	5年	食べて元気に<ご飯と味噌汁>：調理・活動補助	6
	にこほほ	スーパーマーケットを見に行こう「コープ」施設見学活動サポート	2
1月	2年	カッター工作：安全見守り・活動補助	6
	3年	くぎ打ちトントン：安全見守り・活動補助	6
1・2月		はたらく人とわたしたちの暮らし「フィール」：引率・施設見学活動サポート	4

《総スタサポ授業数 138コマ》

《総スタサポ人数 96名》

（内地域3名）

R7年度 学習支援活動報告

【教科関連外部人材活用授業（関連授業）】

月	学年	教科	講師
5月	4年	総合 浜松市出前講座： ユニバーサルデザインって何？	中央区区振興課 市川 剛 高井 励
	3年	総合 萩丘小のじまんをみつけよう①	萩サポ 増崎 桂
	5年	運動会 三方原の戦い（「城落とし」に向けて）	幸町 青野良子
6月	3年	総合 萩丘小のじまんをみつけよう②	学校運営協議会会長 鈴木莞爾 地域サポートクラブくすのき 門奈正洋 萩サポ 増崎 桂
	4年	総合 企業UD出前講座	京丸園(株) 鈴木厚志
	5年	家庭科 お茶の淹れ方講座	まるい園茶舗 鈴木勝彦
	9月	3年	総合 このまち大すき：四ツ池探索（事前授業）
10月		総合 このまち大すき：四ツ池探索	浜松市 服部 匠 公園整備グループ 鈴木大士
12月	1年	生活 じぶんでできるよ	浜松白洋舎 つながるプロジェクト 羽広雄太
	3年	国語 すがたをかえる大豆（醤油出前講座）	加藤醤油 虎岩博之
1月	3年	図工 くぎ打ちトントン	きなりハウス つながるプロジェクト 羽広雄太
	6年	キャリア 漫画家・イラストレーターの仕事	漫画家・イラストレーター 稲 空穂
3月	2年	国語 スーホの白い馬（馬頭琴講座）	佐藤クラシックギター工房 佐藤 剛

【ものづくりサポーター】

動 内 容	参加人数
メモ帳作り	3名
付箋	3名
七夕短冊作り	5名
カーテン製作	1名
雑巾	1名
90周年歴史館装飾	5名

【シャワーズ】

活 動 期	参加人数(延べ)
4～5月(1回/日)	9名
6～7月(2回/日)	32名
8～9月(2回/日)	31名
10月～11月(2回/日)	32名
12月～1月(1回/日)	21名
2～3月(1回/日)	16名
実人数	19名



令和7年度 第3回 萩丘小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和7年11月17日（月）14時30分～15時50分
- 2 開催場所 萩丘小学校 会議室
- 3 出席議員 鈴木 莞爾、森 健、長谷 昭浩、岡本 譲、大橋 邦久、渡邊 貴子、北田 由美、増崎 桂、門奈 正洋
- 4 欠席委員 なし
- 5 学校 須藤 邦夫（校長）、中村 隆紀（教頭）、大村 直弘（主幹）、鈴木 かおり（CSディレクター）
- 6 傍聴者 なし
- 7 会議録作成者 CSディレクター 鈴木かおり
- 8 議長選出 司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、出席した委員から長谷委員を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。
- 9 協議事項
 - (1) 学校の抱える課題と改善策について
 - (2) 次年度の教育活動の方向性について
 - (3) 全国学力調査の結果報告について
 - (4) 90周年をお祝いする会について
- 10 報告
 - (1) 本校のコミュニティ・スクールの支援の振り返り
 - (2) その他
- 11 会議記録 委員9名出席があり過半数に達しているため会議成立している旨の報告があった。

【協議事項】

(1) 学校の抱える課題と改善策について

校長より説明があった。萩丘小は比較的たいへんな学校の一つだと思われるが、実際は活気があり子どもたちも人懐っこく明るい良い学校だ。しかし暴言は気になる。担任は疲弊している。叱ればいいと思うかもしれないが叱られ慣れていない。どう伝えたらいいか悩んでいる。保護者と連携したいと思い連絡するが、家ではそんなことはない、担任の指導力不足ではと思われる。若手教員の電話対応には先輩教員がフォローしている。スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、発達専門家等の紹介、連携。学校と保護者の信頼関係がないとトラブルになりかねない。

不登校も徐々に増えてきている。萩丘小独自で作った「ぬくもり学級」は10名程度在籍。「ぬくもり学級」に通い勉強し始めた子もいる。今後の運営が課題。

児童、保護者の対応で心を痛め休職する教員が毎年のようにでてくる。経験豊富な職員も休職していく。フォローしながら学校運営をしている。

今と少し前との世代間ギャップが出てきている。今までやってきたから続ける指導ではなくなってきている。「小学生らしい服装とは。」「持ち物とは。」多様化している。学校へ行かせない親も増えてきている。手紙のニーズも減り郵便局の手紙の書き方指導もわが校だけ。学校だけでなく保護者、地域と足並みを揃えてやっていきたい。

(2) 次年度の教育活動の方向性について

校長より説明があった。小規模改修があるため1月下旬から9月下旬まで運動場部分的に使用不可。体育館は4月中旬から5月下旬使用不可。音楽室、家庭科室、花壇にも影響がある。そのため行事の時期、授業カリキュラムに変更がある。(運動会を秋、林間学校を春に)

* 体育館の空調はつくのか。(鈴木委員)

・付かない。屋根が二重になるので暑さは和らぐのでは。(校長)

子どもたちの下校後、職員退勤まで1時間しかない。授業準備、採点、会議等こなすのは困難。早帰りをもう一日増やし週28時間にする。

* 週28時間、萩丘小単独でできるのか。(長谷委員)

・実際にやっている学校があり、却下されることはない。(校長)

(3) 全国学力調査の結果報告について

主幹より資料に基づき説明があった。国語、算数、理科ともに低い結果だった。朝食を毎日食べている、塾ではなく自分で机に向かう勉強時間も低い結果だった。今後、授業展開を工夫し良いところはさらに伸ばし、改善点については対策を講じ学力の向上に努めていきたい。

- * 塾に通っている比率は。(岡本委員)
- ・項目にないのでわからないが、習い事 塾は多いと思う。(主幹)
- ・二極化しているのでは。習い事は多いかもしれないが、学習塾はそれほど多くない。(校長)
- * 自分の今の力を見るのにはいい資料。同じ問題が出たとき理解できているのか。書き取りも写すだけになっていないか。手本がないとわからなくなってしまう。間違えることが大切だと伝えている。中学生になったとき今の取り組みが続き結果を出せることが大切。(大橋委員)
- * 6年生はコロナ禍1年生だった。昼休み 取り出し支援していたGUNGUNがなくなった影響はあるのか。3、4年の算数のつまずきが6年生で影響があるのでは。(渡邊委員)
- ・GUNGUNでは教えるというより、困った時のフォロー、認めてあげる、背中を押してあげることが主だった。(大橋委員)
- ・勉強できる機会があるというのは良いことでは(渡邊委員)
- ・点数を上げるだけならいろいろな方法があるが、点数に表れていないコミュニケーションを含めた学校の特色を活かした対応が大切。学力向上プログラムも立ち上げている。友達と遊ぼうと思っている子どもの休み時間を奪って勉強させるのがいいのか。試行錯誤取り組みをしている。上位層も含め一人一人の力をきちっと上げていくことが大切。(校長)

(4) 90周年をお祝いする会について

主幹より90周年をお祝いする会・学習発表会について出席者、横断幕作製・展示、歴史館、子供たちの活動等の説明があった。

- ・90周年について はごろも財団からの補助金があった。(校長)
- * 歴史観はどうやってみせていくか。地域に情報、卒業生に情報が流れてこない(門奈委員)
- ・12月5日(金)から解放。さくら連絡網、学校だより、回覧順、ホームページで伝えていく。(校長)

【報告】

(1) コミュニティ・スクールの支援の振り返り

北田委員より2学期の関連授業についての説明があった。

1年生「じぶんでできるよ」一般衣類や特殊品など幅広く扱うクリーニング業(講師、浜松白洋舎)クリーニングのプロが教える服のたたみ方。工夫次第で様々な方法があることを学んだ。(家に帰った後も実践でき、できることを増やし苦手なことの挑戦するきっかけに) 増崎委員より資料に基づき学習支援活動報告があった。3年校区探検では、幸会館の屋台

小屋、大凧収納庫、消防ポンプ車収納庫、また大聖寺の見学をした。調べ学習では知りえない体験をすることができた。地域を知って興味を深める学習を地域の方と協力して増やしていきたい。90周年記念式典に向け「くすのき」さんをはじめ自治会、ものづくりサポーター、地域のみなさんのご協力いただいた。環境を整えること、コミュニケーションをとること、繋げること。改めて大切に感じた。ご協力をいただき感謝している。

(2) その他

①岡本委員より住吉バイパス 雨水排水改修工事について説明があった。

②渡邊委員より朝ごはん支援について提案があった。以前実施した朝食アンケートで朝食摂取率低下、孤食が問題として上がってきた。そのため朝ごはん支援の企画を提出中。学校内で家庭科室を開放、7時ころから調理はせず軽食を提供。どのくらいの子が必要としているのか参加票を提出してもらおう。事前調査が必要。今 朝食摂取できている子、親にも大切さを知ってもらいたい。

*費用は？(鈴木委員)

・自治会の協力を得たいと考えている。事前申し込みで一人200~300円(渡邊委員)

*食べられる環境にあるがこの制度があると頼ってしまうのでは。(岡本委員)

・経済面だけでなく時間の問題もあるのでは(鈴木委員)

・まずは一度やってみたい。どのくらいのニーズがあるのか知りたい。(渡邊委員)

・最初に自治会に予算の面も打診してみないと(長谷委員)

*教育委員会へは調理をしないという条件で打診している。まずはニーズの把握。費用についてはもっと検討が必要。一度試行してみてもどうか。学校と地域がやることで啓発になる。(校長)

*給食に差しさわりのあるのでは。(岡本委員)

・少しの量なので。食べるか食べないかの選択は保護者にも協力してもらおう。(渡邊委員)

・昔、朝からぐったりしている子がいて、朝担任が食べさせることもあった。そんな子たちが来るとは限らないが。(大橋委員)

*子ども食堂の人と相談してみても。(門奈委員)

・高台ワビが関わってくれている。(渡邊委員)

・実施の時には見学してほしい。(校長)

*いつ計画しているのか。(長谷委員)

・2月に考えている。本年度中に1度。(渡邊委員)

司会から次回会議は、令和8年2月16日(月)14時30分から会議室で開催する旨の報告があった。